



沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で新たな産学連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。

今回は「沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化」をテーマとして、産学の研究機関から、最新の技術シーズをご紹介します。

なお、セミナー当日は、特別講演において、地域資源を活用した地域活性化の方策についてご紹介し、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成28年1月7日（木）13:30～17:30

会場：沖縄県立博物館 講座室（沖縄県那覇市おもろまち3-1-1）

参加費：無料（個別相談会も無料）

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は1月5日（火）までに事務局までお申し込み下さい。

なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催：（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催：沖縄農業研究会

プログラム

【挨拶】 （公社）農林水産・食品産業技術振興協会 13:30～13:35
沖縄農業研究会

【特別講演】

「地域資源を活かした、継続する地域活性化の方策とは」 13:35～14:20
松本 謙氏（（株）ファーマーズ・フォレスト 代表取締役）

【シーズ紹介】

1)「パインアップルの品種開発と品種特性」 14:20～14:50
竹内 誠人氏（沖縄県農業研究センター 名護支所 主任研究員）

2)「瞬間的高圧処理による柑橘果汁の高付加価値化」 14:50～15:20
蔵屋 英介氏（国立沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 准教授）

3)「沖縄ツバキによる産業化の可能性と取り組み」 15:30～16:00
田島 勝氏（あーびやーんもーゆ琉球月桃 代表）

4)「ゲットウのもつ可能性を引出し、お客様の声を商品開発に活かす取り組み」 16:00～16:30
中村 謙氏（（株）丸海きあら 営業部長）

5)「沖縄型植物工場の開発と今後の展開」 16:30～17:00
川満 芳信氏（琉球大学農学部 教授）

※特別講演、シーズ紹介の概要は裏面をご覧ください。

【個別相談会】

17:00～17:30

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。

（セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関するご相談全般に対応致します）

【特別講演の概要】

「地域資源を活かした、継続する地域活性化の方策とは」
松本 謙氏 ((株)ファーマーズ・フォレスト 代表取締役)

(講演内容)

地方創生第二ステージを迎える本年、持続して「稼ぐ」地域を創造する仕組みづくりが求められている。一次産業をはじめとした地域に取り巻く様々な課題を踏まえて、これからの持続する地域活性化の方向性として「地域資源を多面的に活用した包括的な出口戦略」の重要性はますます高まってきている。本講演では、そうした地域資源を活用した地域活性化に関して、具体的な実践事例を踏まえて解説する。

【シーズ紹介の概要】

①「パインアップルの品種開発と品種特性」

竹内 誠人氏 (沖縄県農業研究センター)

(発表内容)

指定試験事業により沖縄県でパインアップル育種が開始され27年が経過し、6種の生食用パインアップルが品種登録されている。現在行っているパインアップル育種研究と開発された品種・系統について紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい
- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関
- ◆ 農林漁業関係者

②「瞬間的高圧処理による柑橘果汁の高付加価値化」

蔵屋 英介氏 (国立沖縄工業高等専門学校)

(発表内容)

柑橘類に瞬間的高圧処理を行い、組織を内部から破壊させると組織内にある成分が効率よく抽出され、果汁中の香りや機能性成分が著しく増加する。この技術を沖縄県産柑橘やその他に応用して果汁の高付加価値化を図る。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけたい
- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品関係)
- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 商社

③「沖縄ツバキによる産業化の可能性と取り組み」

田島 勝氏 (あーびゃーんもーゆ琉球月桃)

(発表内容)

農家の高齢化やTPP等で新たな農業のあり方が模索される中、ツバキは新たな6次産業化の可能性を秘めている。コスメ製品だけでなく、沖縄の食生活を改善する健康食油として期待される。ここでは、琉球大学と取り組んでいるツバキの高付加価値総合利用と普及に関する取り組みを紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい
- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関
- ◆ 農林漁業関係者

④「ゲットウのもつ可能性を引出し、お客様の声を商品開発に活かす取り組み」

中村 謙氏 ((株)丸海きあら)

(発表内容)

自社開発した搾汁液蒸留法は、水の代わりに月桃搾汁液を使うことで、揮発性の香り成分を含んだ蒸留液の精製を可能とした。月桃由来の成分を活かした月桃コスメ製品の開発、消費者の声から生まれた商品を紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (化粧品製造業等)
- ◆ 商社

⑤「沖縄型植物工場の開発と今後の展開」

川満 芳信氏 (琉球大学農学部)

(発表内容)

平成24～26年度に県の一括交付金の補助を受け、太陽エネルギー、バガス炭等の資源をフルに活用し「沖縄型植物工場」を開発した。沖縄の亜熱帯島嶼性の気候風土や社会条件に適合した低コストで低炭素型の植物工場の概要と次なる展開について述べる。

(マッチングの方向性)

- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 商社
- ◆ 情報・IT関係者

◆事業化を加速する産学連携支援事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究、事業化を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
産学連携事業部 川畑・酒井・佐藤
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 27 年度事業化を加速する産学連携支援事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (1/7 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

会場「沖縄県立博物館」案内図



住 所：沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

TEL：098-941-8200

交 通：沖縄都市モノレールおもろまち駅 下車徒歩10分

平成 27 年度事業化を加速する産学連携支援事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (1/7 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 産学連携事業部

E-mail：renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX：03-3586-8277

(E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： _____ () (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

